

# 子の困窮、物価高で悪化

## 冬休み食料支援 申し込み最多

### 国際NGOが

### 世帯調査結果

子ども支援専門の国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」は30日、困窮する子育て世帯への食料支

援「冬休み 子どもの食 応援ボックス」の申込者6743世帯のアンケート結果を公表しました。物価上昇の影響で「十分な食料を確保できない」という家庭が9割に上り、税金世帯などが対象で

「子どもの食について求める支援としては、70%が「食料品や生活必需品への消費税の引き下げ」と回答。80%が「長期休暇中の昼食費の補助」と答えました。アンケートでは、長期休暇中などの給食がない時期の昼食を「あまりとれていない」「とれていない」とした回答は45%に。物価上昇で子どもにマイナスの影響があるとした回答は97%でした。半数以上が経済的理由から、子どもにクリスマスプレゼントやお年玉をあげられないと答え

ました。子どもは食について求める支援としては、70%が「食料品や生活必需品への消費税の引き下げ」と回答。80%が「長期休暇中の昼食費の補助」と答えました。アンケートでは、長期休暇中などの給食がない時期の昼食を「あまりとれていない」「とれていない」とした回答は45%に。物価上昇で子どもにマイナスの影響があるとした回答は97%でした。半数以上が経済的理由から、子どもにクリスマスプレゼントやお年玉をあげられないと答え

ました。子どもは食について求める支援としては、70%が「食料品や生活必需品への消費税の引き下げ」と回答。80%が「長期休暇中の昼食費の補助」と答えました。アンケートでは、長期休暇中などの給食がない時期の昼食を「あまりとれていない」「とれていない」とした回答は45%に。物価上昇で子どもにマイナスの影響があるとした回答は97%でした。半数以上が経済的理由から、子どもにクリスマスプレゼントやお年玉をあげられないと答え

ました。子どもは食について求める支援としては、70%が「食料品や生活必需品への消費税の引き下げ」と回答。80%が「長期休暇中の昼食費の補助」と答えました。アンケートでは、長期休暇中などの給食がない時期の昼食を「あまりとれていない」「とれていない」とした回答は45%に。物価上昇で子どもにマイナスの影響があるとした回答は97%でした。半数以上が経済的理由から、子どもにクリスマスプレゼントやお年玉をあげられないと答え

ました。子どもは食について求める支援としては、70%が「食料品や生活必需品への消費税の引き下げ」と回答。80%が「長期休暇中の昼食費の補助」と答えました。アンケートでは、長期休暇中などの給食がない時期の昼食を「あまりとれていない」「とれていない」とした回答は45%に。物価上昇で子どもにマイナスの影響があるとした回答は97%でした。半数以上が経済的理由から、子どもにクリスマスプレゼントやお年玉をあげられないと答え



応援ボックスの箱詰めをするボランティアやスタッフ＝30日、千葉県船橋市